

①2037年リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



昨年度に引き続き、「骨太の方針2023」に、**本年からの名古屋以西区間の環境影響評価着手に関する方針を記載**いただくなど、駅位置・ルートへの決定に向け、国として積極的に推進する姿勢を示していただいていることに、**心より感謝**。

【本県の基本姿勢】

○ リニア中央新幹線の大阪までの全線開業、そして「**奈良市附近駅**」の設置は、**本県の新たな発展の基軸**となるもの。

本県は、**リニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定に向けて、全面的に協力・推進**していきます。

○ また、**リニアの整備効果が、観光・経済面など広範にわたって県内全域に及ぶよう、必要な調査・検討**を進めます。

(参考)「経済財政運営と改革の基本方針2023」(本年6月16日閣議決定)

リニア中央新幹線について、(中略)全線開業の前倒しを図るため、建設主体が本年から名古屋・大阪の環境影響評価に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導・支援を行う。

【今年度の取組】

○ 中間駅立地自治体として必要な、駅候補地等に係る社会・文化・自然条件や、駅周辺まちづくり等に関する基礎調査・検討。

○ リニア建設促進期成同盟会、三重・奈良・大阪**三府県建設促進大会(今年度は本県で開催)**等の主催。



②駅位置・ルートの決定に向けて

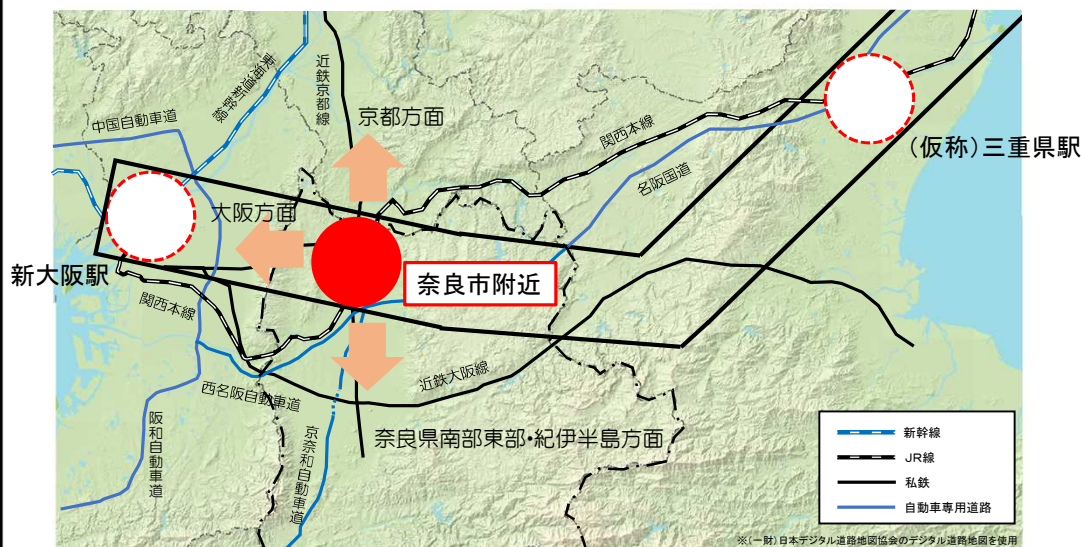
○ 事業主体であるJR東海と密接に連携し、「奈良市附近駅」の位置及び県内ルートの早期決定に向け、県においても必要な調査を実施。

○ 「奈良市附近駅」が、

➢ **本県全体、ひいては紀伊半島全域のゲートウェイ**

➢ **大阪・京都を含めた関西のゲートウェイ、**

となるよう、**産業・観光など多方面にわたるポテンシャルや戦略的な活用方策、交通アクセス等**について検討を進める。



国にお願いすること

1. 「奈良市附近駅」の位置及び**三重・奈良・大阪ルート**の**早期確定**のため、**本年から名古屋・大阪間の環境影響評価に着手**すること。
2. **2037年の東京・大阪間全線開業**に向け、本県区間を含む名古屋以西区間の工事に**早期に着工**すること。
3. **車両基地**を大阪のターミナル駅の近傍である**奈良県内に設置**すること。